

イチゴ 高設栽培用背負式カルチ

安全取扱説明書



- ●ご使用前に必ずこの安全取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。●安全取扱説明書は大切に保管してくだ
- さい。

このたびはニッカリ製品をお買上いただき、ありがとうございました。

●この安全取扱説明書は安全快適にご使用していただくために、下記目次の順にて説明しています。

ご使用まえには必ず熟知するまでお読みのうえ正しくお取扱いただき、最良の状態で ご使用ください。

お読みになったあとも、必ず保管してください。

●部品のご入用、故障の場合には、お買い求めの販売店または各営業所にお問合せください。

▲のマークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

▲ 危険 適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が 極めて大きいことをしめします。

▲警告 適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が 存在することをしめします。

▲注意 安全な取扱に対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、 傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることをしめします。

●万一ラベルが読めなくなった場合は、販売店より新しくラベルを購入し貼り替え、常に マークが読めるようにしてください。

目 次

- 〇安全にご使用いただくために ・・・・ P. 1
- ○使用準備(本機の組付・調節)・・・・・ P. 3
- ○運転方法(始動・停止)・・・・・・ P. 4
- 〇日常点検・整備・長期保存 ・・・・・ P. 4



機械の改造は危険ですので、改造しないで下さい。 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる 場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意下さい。

安全にご使用いただくために・・・

機械を安全に使用するために、次の事項は必ず守ってください。

1. 全般的なこと

(1) 説明書をよくお読みください。

▲注意

(2) **長袖、長ズボン**を着用(袖じまり、裾じまりのよいもの)し、頭部には**ヘルメット**等 JIS 等の規格に合格した**保安帽**を着用するとともに、**手袋**を付けて、足元保護のため**安全ぐつ**、又は**長ぐつ**を履いてください。

▲警告

(3) 過労や飲酒、薬物を服用して本機を使用しないでください。

▲警告

(4) 子供や取扱いの指導を受けていない人には使用させないでください。

▲警告

(5) **取扱いの指導を受けていない人や扱いに不慣れな人**には刈払機を貸さないでください。

▲警告

(6) 夜間及び天候の悪いときは使用しないでください。

2. ご使用の前に

機械の点検

.

(1) 各部にゆるみがないか、**グリス**、燃料が入っているか、**燃料漏れ**がないかを 点検し、**異常がないことを確認してから**使用してください。

▲警告

▲注意

(2) **爪が確実に取りつけられているか、損傷はないかを確認し**、異常のないことを確認してから使用してください。

エンジンの始動

▲注意

(1) 2サイクルエンジンですので、エンジン取扱説明書の混合比に従って燃料を 使用してください。混合比を間違えるとエンジンが焼付や磨耗を起こします ので注意してください。

▲危険

(2) エンジンを始動するときは、周囲(15m以内)に十分注意してください。

▲注意

(3) 屋内では始動しないでください。

▲注意

(4) 始動は燃料補給場所とは異なるところで行ってください。

▲危険

(5) 燃料の補給はエンジンを停止し、火気のないところで行ってください。 もし、補給中に燃料をこぼしたときは十分に拭き取ってください。

▲警告

(6) 排気を吸わないように注意してください。

3. 作業時

▲注意

(1) 足もとや周囲に充分注意して作業してください。

▲注意

(2) 石等に当たり衝撃をうけたときや、異常を感じたときは、**作業を中止しエン** ジンを停止させて異常の有無を点検確認してください。

▲注意

(3) 爪部に異物が巻きついた場合は、**必ずエンジンを停止してから**異物を取り除いてください。

(4) 2人以上で作業する場合は呼子等での**合図の方法**をあらかじめ決めて、合図 ▲注意 の徹底を図ってください。また、人と人との間は15mを保ってください。

(5) 作業中に立ち話は絶対にしないでください。話をするときはエンジンを止め ▲注意 てください。

(6) 電気ショックを受ける可能性がありますので、作業中は点火プラグキャップ ▲危険 部、高圧線に触れないでください。

(7) 火傷防止のため、作業中はもとより、エンジン停止後もしばらくはエンジン ▲警告 本体、マフラ等に触れないでください。

(8) 場所を移動するとき、作業を中断するときは必ずエンジンを停止してから行っ ▲注意 てください。

▲危険 (10) エンジン運転中は換気を充分に行ってください。少しでも気分が悪くなった ▲危険 場合には作業を中止してください。

(9) 回転している爪には、手はもちろん身体や衣服を近づけないでください。

4. 作業後

使用後の手入れ

(1) 全体のチリやホコリをよく取り除いてください。特にエンジンのエアクリー ナの部分や冷却風取り入れ口の付着物に注意してください。

▲警告 (2) 各部の締め付けネジの緩みがないか、爪に損傷がないかを点検し、ネジの緩 みがあれば締め付け、爪に損傷があった場合はすぐに交換してください。

- (3) 燃料やウォームケースのグリス漏れがないかを点検し、漏れがある場合は、 修理してください。
- (4) 修理・調整するときはエンジンを停止し2次コードをプラグから外してくだ さい。

(5) 部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をお使いください。 ▲警告

保管

- (1) 各部を十分に清掃し金属部には発錆防止のためオイルを薄く塗ってください。
- (2) 燃料タンク、キャブレタに残っている燃料は全部抜き取ってください。
- 点火プラグを外し、プラグの穴から少量のオイルをシリンダに流し込み、リ コイルスタータを数回引きオイルが行き渡るようにしてください。
- (4) リコイルスタータを引張って圧縮のあるところ(重くなったところ)で止め てください。
- (5) 損傷個所がある場合は**必ず修理**してから格納してください。

(6) 子供の手の届かないところに保管してください。 ▲注意

- (7) 湿気のないゴミ、ホコリのつかないところに格納してください。
- (8) 燃料を保管する場合ポリ容器は使用しないでください。 (1ヶ月以上ポリ容器に入れておくと燃料が腐ります。)

使用準備(本機の組付・調整)

輸送のためエンジン部、フレキシブルライナ、フレキシブルカバー、本機部を分割して梱包してあいます。

次の手順に従って組立てください。

1. フレキシブルライナの着脱

本機側

フレキシブルカバーにスロットルワイヤ、 リードワイヤを通し、次にフレキシブルライナをフレキシブルカバーに通します。

フレキシブルライナをジョイントケースに差 込み、抜け止め位置を合わせCSボルト(M 5×30)で締め込みます。(図1)

フレキシブルライナは前後どちらでも使用可能です。

※フレキシブルライナの回り止めがCSボルトに当たらないように取り付けてください。

エンジン側

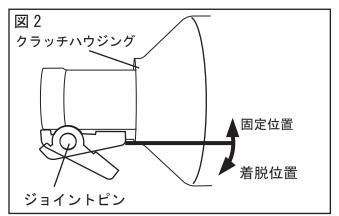
フレキシブルライナをクラッチハウジングに に差し込みます。

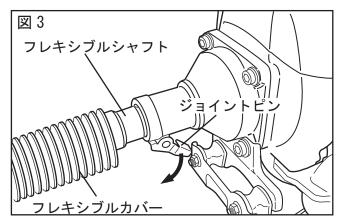
フレキシブルシャフトとクラッチドラムの差 し込み口の向きを合わせるとスムーズに差し 込めます。

(注) 使用前には、必ずフレキシブルライナが 抜けないか確認してください。

フレキシブルライナをはずす場合は、ジョイントピンを押し下げながら抜いてください。図3

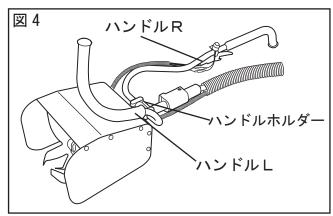
図 1 C S ボルト M 5 × 3 0 回り止め ジョイントケース フレキシブルライナ





2. ハンドル組付け

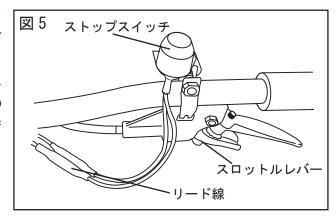
・ ハンドルL、R をハンドルホルダーに組付け 使いやすい位置で固定してください。図 4



3. スロットルワイヤ、リード線の組付

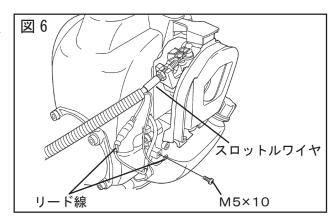
スロットルワイヤーをRハンドルのスロット ルレバーとエンジンのキャブレターに組付け ます。

リード線も同様にRハンドルのストップスイッチ(図5)とエンジン側のリード線への接続とエンジンに付属のネジM5×10で(図6)のように締付けてください。



接続後は、エンジンのキャブレタ側にスロットルワイヤを取付けワイヤの調整をしてください。

ワイヤの遊びは1~2mmが適当です。



4. ロータリ幅の変更

本機は作業によりロータリ幅を変更することができます。

初期組付け分 ロータリ幅 1 O O mm 付属部品使用時 ロータリ幅 1 3 5 mm

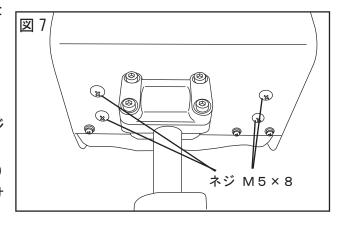
 ロータリカバーBを止めている4本のネジ (M5×8)を外しカバーを取りはずします。
 本機にセットされている右側のツメ(内外)を取り外し、付属のツメ(内内)を取り付けます。

付属のロータリカバーAを組付け取り付け4本のネジ(M5×8)で締付けてください。 図10

ロータリーカバーの全幅

ロータリーカバーA 200mm

ロータリーカバーB 170mm



始動•停止

1. 始動

エンジンの取扱説明書を参照ください。

2. 停止

ロットルレバーを完全に戻してください。 ストップスイッチをエンジンが停止するまで押し続けてください。

日常点検・整備・長期保管

点検・整備 ▲注意

始動前に必ず点検を行ってください。

① ツメの損傷、偏磨耗はないか。

▲注意

- ② ツメ取付ボルトやその他ネジのゆるみ、損傷 はないか。
- ③ 各部に油もれはないか。
- 4 エアクリーナエレメントは汚れてないか。
- ⑤ 燃料は充分あるか。
- ※ その他複雑な調整・修理は購入代理店にご相 <注意> 談ください。

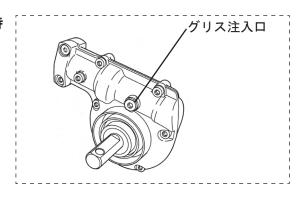
i		毎日	20 時間	50 時間
	ボルト、ナットのゆるみ	0		
	燃料もれ	0		
	プラグの清掃、調整		0	
	エアクリーナエレメントの清掃		0	
	ウォームケースのグリス補給		0	
	スロットルワイヤーの調整			0

機械の寿命は、手入れの良否によります。上記 の表の項目について点検整備を行ってください。 時間数は標準的な目安ですので、負荷状態や使 用環境によって適宜増減してください。

グリスの注入

グリスはエッソのリスタンEP2相当のものを20時 間毎に補給してください。

- グリス注入口のボルトを取りはずす。
- ② グリスを注入する。
- ③ グリス注入口のボルトを取りつける。



長期保管

- ① 2週間以上使用しない場合は、**燃料タンク、キャブレタ内の燃料を全部排出して** ください。
- ② キャブレタ内の燃料を抜くには、タンクの燃料を抜いた後、エンジンを始動させ 低速のままで、自然にエンジンが停止するのをまちます。
- ③ エアクリーナを清掃すると同時に各部の汚れを取除いてください。
- ④ 点火プラグ取付け穴より2サイクルオイルを数滴注入し2~3回リコイルスター タを引張り、ピストンヘッドが最もプラグに近い位置でプラグを装着してくださ

⑤ エンジンが充分冷えていることを確認してから、直射日光のあたらない、湿気や ▲注意 ほこりの少ない場所に保管してください。